

# 地域医療連携推進法人の 設立について

東近江メディカルケアネットワーク

# これまでの経緯と設立までの スケジュールについて（予定）

令和元年10月 1日（火）第2回東近江圏域地域医療構想調整会議で  
研修会の開催を周知

11月19日（火）地域医療連携推進法人研修会（参加31名）

11月25日（月）準備会への参加案内を送付（12月13日締切）

12月26日（木）第1回準備会開催

令和2年 1月16日（木）第3回東近江圏域地域医療構想調整会議提出  
（参加社員の再募集を予定）

3月開催予定 滋賀県医療審議会での承認予定

4月 1日（水）地域医療連携推進法人としてスタート

# 1 法人の概要①

1 名称 地域医療連携推進法人 東近江メディカルケアネットワーク（認定後）

2 理事

- ・ 代表理事 小椋 正清
- ・ 理事 相馬 俊臣、島田 徹ほか7名以内
- ・ 監事 1名

3 主たる事務所の位置 滋賀県東近江市八日市緑町10番5号

4 目的

当法人は、医療連携推進方針に基づき、滋賀県東近江市、近江八幡市、日野町及び竜王町（以下「東近江医療圏域」という。）における、医療機関相互間の機能の分化及び業務の連携と介護事業の連携を推進するために必要な医療連携推進業務を行い、地域医療構想の達成及び地域包括ケアシステムの構築に資することと、地域住民に対して質の高い効率的な医療提供体制を確保する事を目的とする。

# 1 法人の概要②

## 5 医療連携推進区域

東近江圏域（東近江市・近江八幡市・日野町・竜王町）

## 6 参加者

- ・ 東近江市
- ・ 日野町
- ・ 医療法人社団 昂会
- ・ 島田医院ほか診療所
- ・ 医療圏域内の個人医師

# 1 法人の概要③

## 7 事業内容

- (1) 病床機能分担と業務連携
- (2) 在宅医療と業務連携
- (3) 予防医療の充実
- (4) 参加法人間の職員派遣、共同での人材育成・共同研修
- (5) 医療機器の共同利用
- (6) 医薬品・診療材料等の共同交渉・共同購入
- (7) 委託業務の共同交渉
- (8) 連携業務の効率化
- (9) 特定健康診査、がん検診の受診率向上（未受診者対策）
- (10) 働き方改革
- (11) 前各号に掲げるもののほか、地域医療連携推進に関する事業

# 1 法人の概要④

## 8 地域医療連携推進評議会

東近江市医師会副会長、東近江薬剤師会 会長ほか6名以内

## 9 事業計画 設立総会

事業計画並びに内容の検討

各種研修会の開催

受診率向上対策の手法の協議・決定

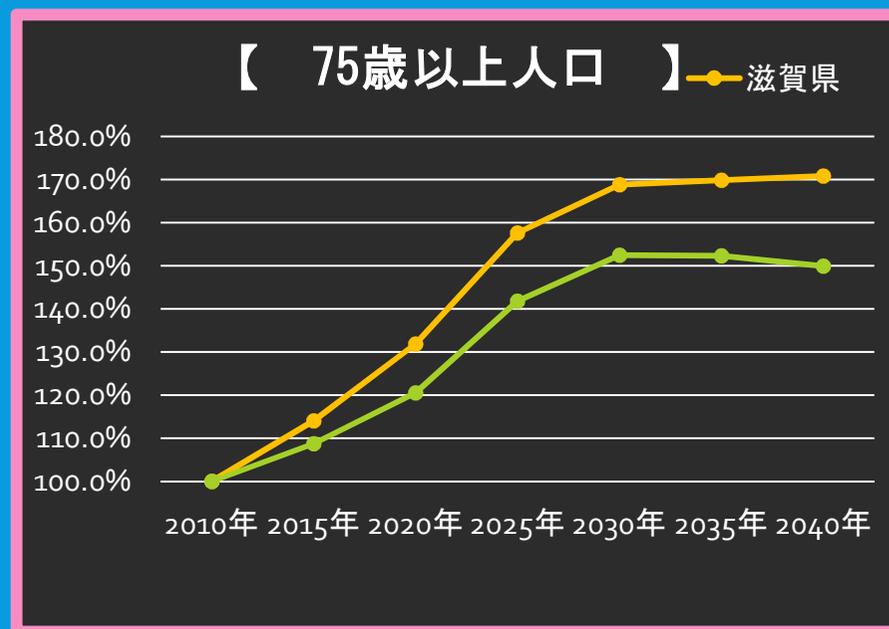
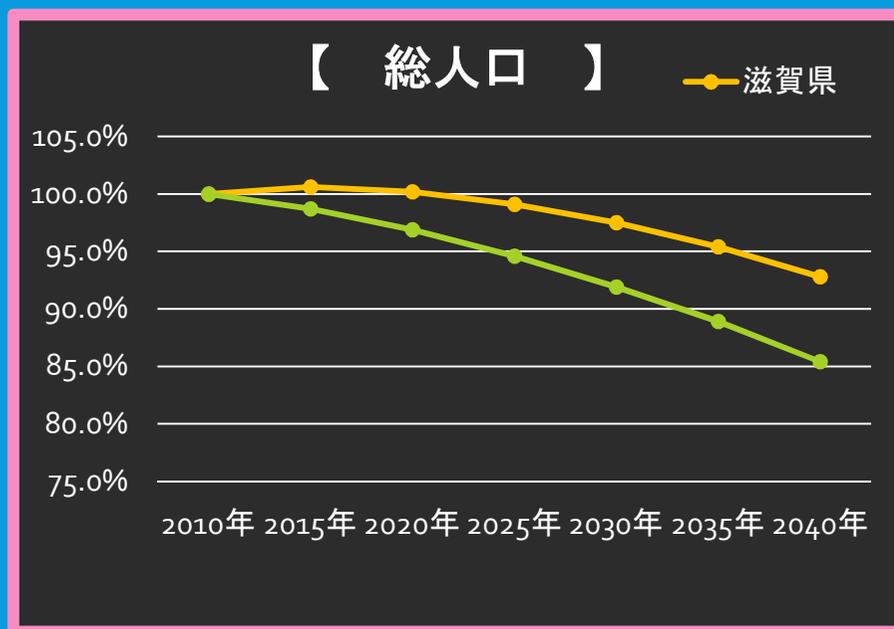
理事会（随時）

地域医療連携推進評議会（年1回）

## 2 東近江圏域の現状と課題

### 東近江圏域の人口増減率の推移

※平成22年（2010年）を100%としたときの指数



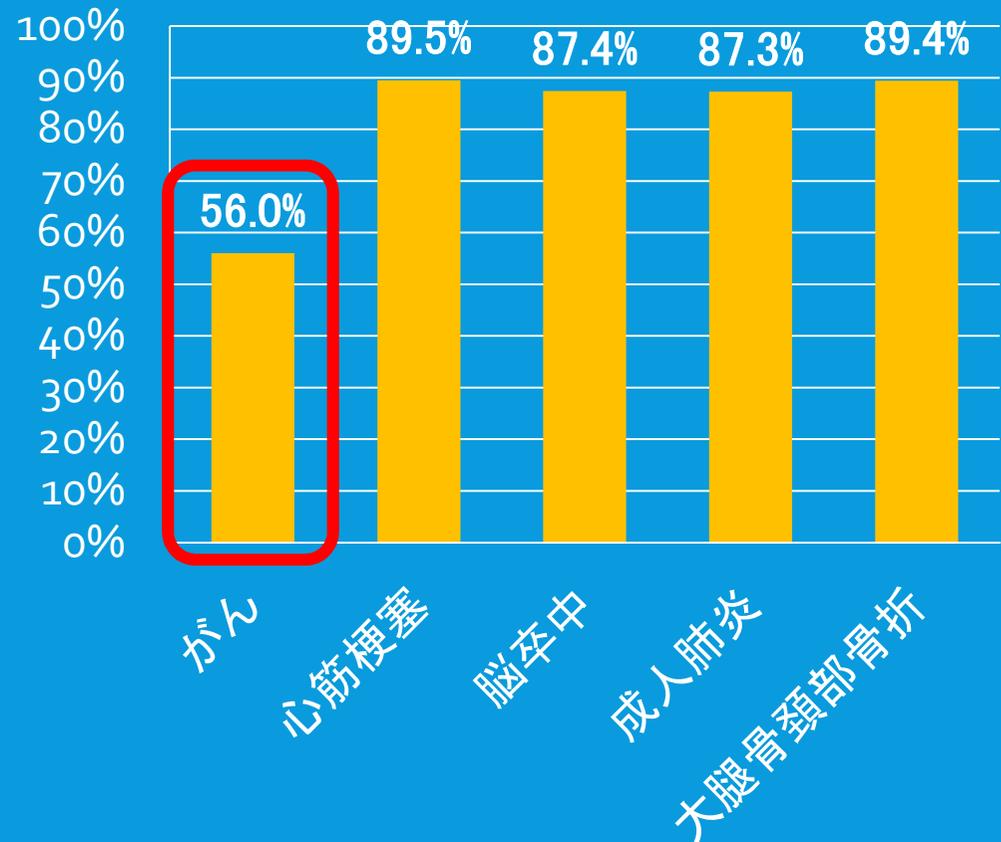
東近江圏域では、既に人口減少局面に入っており、今後も減少傾向で推移していくことが予測される。一方、75歳以上人口は2025年には2010年時点の約1.4倍まで増加する予測となっており、2030年をピークに増加し、その後は減少傾向で推移する見込みである。

## 2 東近江圏域の現状と課題

### 東近江圏域の完結率（疾患別） 東近江区域 疾患別完結率

急性心筋梗塞、脳卒中、成人肺炎、大腿骨頸部骨折については、他区域に比べ同等かあるいはより優れた設備、人的配置ができており、**完結率が85%**を超えている。

一方、高齢化に伴うがん発生率の増加に対して、東近江区域には治療施設が限られており**完結率が56.0%**と極端に低い。



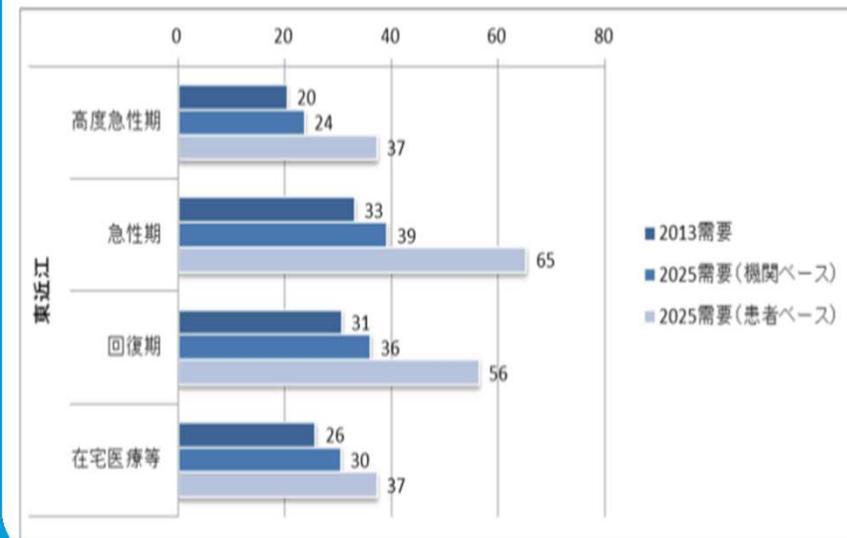
「滋賀県地域医療構想の概要」より

## 2 東近江圏域の現状と課題

がんは、滋賀県における死因の第1位であり、生涯のうち、がん罹患する可能性は2人に1人であるといわれている。2025年は2013年の約2倍を示していることから、がん治療の医療需要においては、**東近江圏域での完結率が56%**であり、圏域で完結するために東近江圏域での新たながん診療治療施設の整備が必要である。

また東近江圏域には県内唯一のガンマナイフがあり、がん治療の需要の増大に比例して、転移性脳腫瘍の治療も増大し、他の区域からの流入は今後も持続すると考えられる。

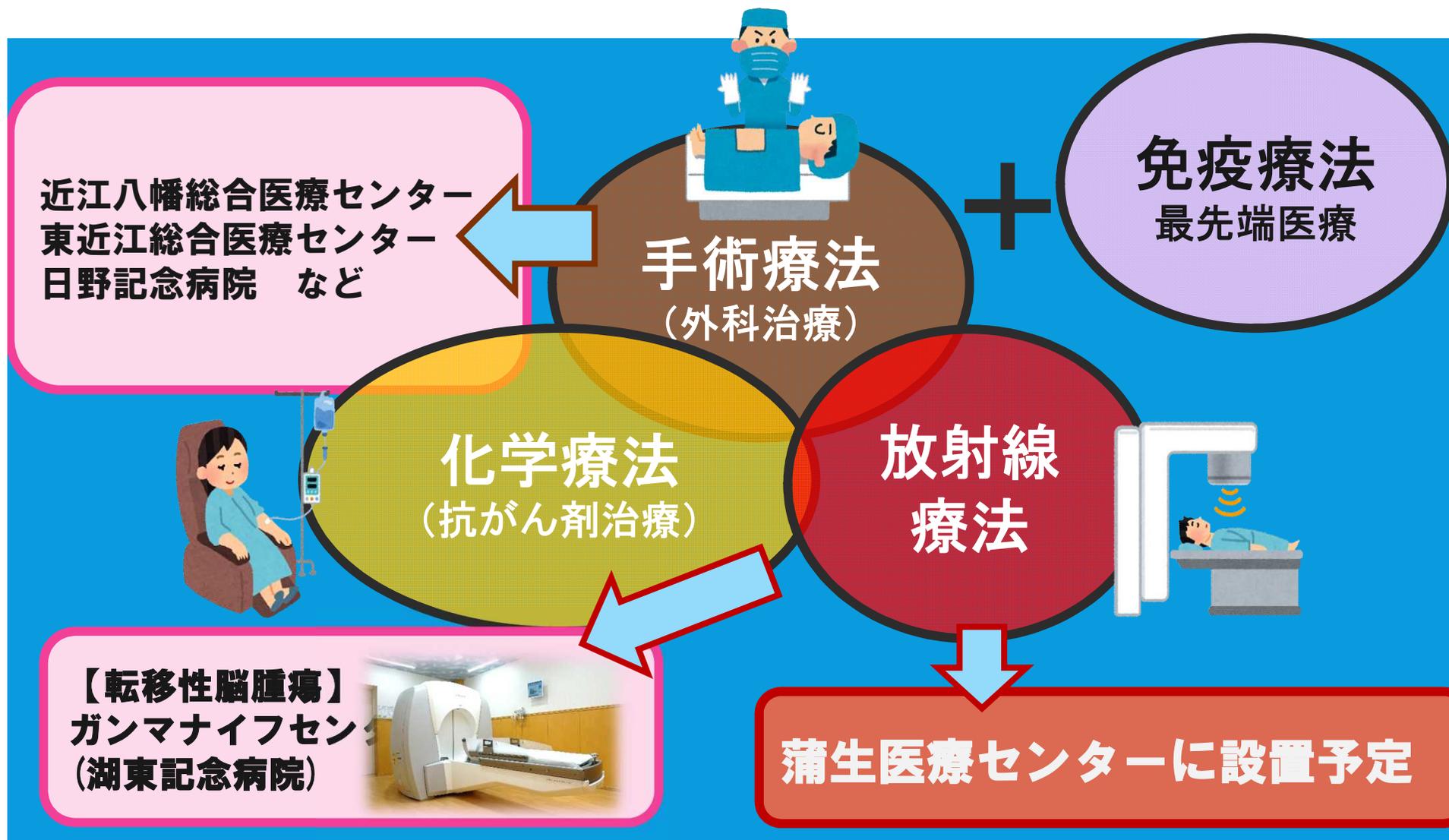
図・表 がんの医療需要 (単位:人/日)



滋賀県地域医療構想の概要より

**がんに対する完結率を高める事が東近江圏域の重要課題である**

## 2 東近江圏域の現状と課題



## 2 東近江圏域の現状と課題

### ●国民健康保険特定健康診査受診率について

国の目標数値は「特定健康診査受診率65%」。

東近江市の実態把握状況では、未受診者の33%は、かかりつけ診療所等で受療中であり、31%が未把握（レセプト無、健診履歴無の状況である）。

	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
国民健康保険 特定健康診査 受診率の推移	東近江市	35.6	35.6	35.8	33.8	35.1	40.3
	日野町	39.9	35.6	34.4	34.6	37.2	41.0
	滋賀県	37.1	38.3	38.3	38.2	39.0	40.9

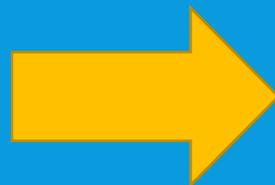
## 2 東近江圏域の現状と課題

### ●がん検診の受診率

検診の受診率向上を実施し、早期発見・早期予防が重要。  
国の目標値に対して全く及ばない状況である。

### ●働き方改革への取組

自治体として  
医療機関として



何を？ どうしたら？ いいのか？

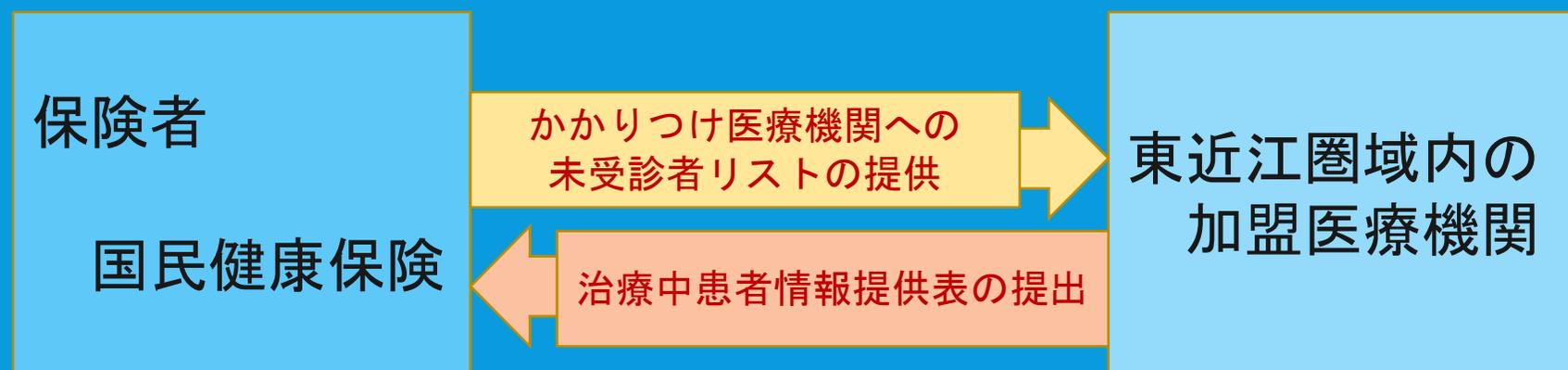
### 3 地域医療連携推進法人における取組 (将来構想)

#### 総合病院ネットワーク



### 3 地域医療連携推進法人における取組 (将来構想)

#### 特定健康診査（がん検診）受診率向上対策



保険者からかかりつけ医に対して「未受診者リストの提供」を行い、「治療中患者情報提供票」を保険者へ提出してもらい、受診率向上対策を実施する。国民健康保険でスタートさせ、各保険者に呼びかけ参加保険者の拡大を実施する。

がん検診も同様の手法での実施を検討する。

### 3 地域医療連携推進法人における取組 (将来構想)

#### 働き方改革への取組

- 研修会の開催
- 取組事例の共有
- 医師不足への検討

厚生労働省医政局医療経営支援課  
医療勤務環境改善推進室からオブザーバーの派遣

⇒研修会の開催・各種サポートの実施予定  
(令和2年度新規事業)

### 3 地域医療連携推進法人における取組 (将来構想)

#### 地域に応じた病床の編成



### 3 地域医療連携推進法人における取組 (将来構想)

## 在宅医療の充実



# 東近江圏域における連携

## 国立病院機構

### 東近江総合医療センター

二次救急センター  
肺疾患、消化器  
結核拠点病院  
産婦人科救急



## 三次救急センター 近江八幡総合医療センター



救命救急センター  
周産期母子医療センター

## 東近江 メディカルケア ネットワーク

病診連携の充実  
開業医での治療

### 在宅復帰支援

日常生活復帰のためのリハビリテーション。在宅医療支援に向けた在宅介護支援事業所と連携、調整

### 回復期

ヴォーリス'記念病院 (ホスピス) 含む  
神崎中央病院  
青葉病院  
近江温泉病院

### 維持期

ヴォーリス'記念病院  
神崎中央病院  
青葉病院  
東近江敬愛病院  
近江温泉病院

介護老人保健施設  
診療所  
居宅介護支援事業所  
訪問看護ステーション  
訪問介護事業所

### 在宅 (生活の場) の療養支援

在宅療養支援介護  
希望患者に対する受け取り